

recommendation

HIDAKA

Rinie スタッフのおすすめスポットをご紹介します。

花屋 Moku-sei



「おめでとうございます!」という言葉とともに、鍵をお渡しするお引渡し式。私たち Rinieにとって、お客様の笑顔が見られる最高に幸せな瞬間です。そんな大切な門出に、私たちが欠かさず準備している特別なプレゼントがあります。それは、日高市にお店を構える「花屋 Moku-sei(モクセイ)」さんのフラワーアレンジメントです。

Moku-seiさんの魅力は、なんといっても店主の秋本璃奈さんの圧倒的なセンス。私たちが事前にお伝えするのは、お施主様のお好みの色や、実際にアレンジメントを飾るリビングのデザイン、そしてお家の雰囲気です。

お引渡し式当日。リビングに飾られたその花をひと目見た瞬間、お施主様から「わあ…!」と感嘆の声が漏れます。その瞬間の感動は、何度立ち会っても胸が熱くなります。「自分たちのために、こんなに素敵なお花を…」その喜びは、お家づくりの思い出をさらに深く、特別なものにしてくれます。



誰かに想いを届けたいとき、あるいは自分の暮らしをちょっと特別にしたいとき。ぜひMoku-seiさんへ。センス抜群のお花たちが、きっと毎日の生活を楽しくしてくれますよ。

Message



花は飾るだけで、空気や気持ちまで変えてくれる存在。

花屋 Moku-sei は、お客様の「こんな雰囲気が好き」「この人に似合う花を」という言葉を大切に、贈り物としてのお花はもちろん、ご自宅に飾るお花まで、「お客様一人ひとりのオーダーイメージに合った色合わせや花材選び」をご提案しています。
暮らしの中で無理なく続けられる
「花のある時間」を大切に。

花を通して、気持ちがやさしく整うような時間をお届けできたら嬉しいです。ギフト・仏花・自宅用まで、用途に合わせた丁寧なご提案をさせていただきます。



PROFILE



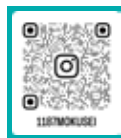
Moku-sei

〒350-1255 埼玉県日高市武蔵台1-23-23

営業時間:10:00-18:00

定休日: 木・日(臨時休業有り)

Instagram: @1187mokusei



店主 秋本 璃奈さん

肌のくすみ改善や血行促進

蒸しタオル美容法

冬は乾燥しやすく、血流が滞り肌の調子が悪くなってしまいがち。スキンケアをしながらリラックスタイムにもなる蒸しタオルで、冬のお肌の調子を整えましょう。



蒸しタオルの効果

蒸しタオルをすることで血行が良くなり肌のターンオーバーを促進させ、くすみやクマを改善します。毛穴が開くことで汚れを落としやすくなり、スキンケアの効果も高めてくれます。また、目の疲れやむくみに悩む人にもおすすめです。

蒸しタオル美容法のやり方

step 01 ▶ 清潔なタオルを水で濡らして絞り、電子レンジで30秒〜1分ほど温めます。

step 02 ▶ 温めたタオルが適温になったら、2〜3分ほど顔に乗せます。タオルが冷め切る前に外しましょう。

蒸しタオルはクレンジング→蒸しタオル→洗顔→スキンケアの順に行うとよいでしょう。毎日ではなく、週に1、2回程度行うのが目安。蒸しタオルをした後は乾燥しやすくなっているので、早めに保湿をするのが大切です。

＼香りも楽しむリラックスタイム /
アロマの香りの蒸しタオル

ボウルに水を入れ、お好きな精油を2滴垂らします。そこにタオルを入れて絞ったら電子レンジで1分ほど温めます。取り出して温度が適温になったら完成です。



お部屋にリゾート感をプラス オーガスタ

オーガスタは、大きくて光沢のある葉が特徴的で、存在感があり、置くだけでモダンでおしゃれな空間を作り出します。「輝かしい未来」や「暖かい心」といった花言葉を持ち、「感謝の木」としても知られています。オーガスタの基本的な育て方や、インテリアへの取り入れ方など、その楽しみ方について詳しくご紹介します。

オーガスタの特徴

オーガスタの一番の特徴は、楕円形の大きな葉です。成長が早く、大きなものは長さ60cm〜120cm、幅が30cm〜60cm程度にもなります。大ぶりでツヤのある葉が見栄えることから、インテリアグリーンとして人気があります。大きく成長した株は白やオレンジの特徴的な花を咲かせます。

● オーガスタの置き場所

オーガスタは、日当たりの良い環境を好む植物です。室内では明るい窓辺に置き、屋外では半日陰や明るい日陰が適しています。十分な日光を確保すると、大きく立派な葉を育てることができます。耐陰性もあり日陰でも育ちますが、明るい場所に置くほど葉の色が美しくなります。

● 水やりのポイント

水やりの基本は、土が乾いたのを確認してからたっぷりと与えることです。冬の休眠期には控えめにし、完全に乾いたタイミングで少量ずつ与えましょう。また、葉に霧吹きで水をかけると、乾燥を防ぎつつ健康的な状態を維持できます。さらに、鉢皿に水が溜まらないよう注意し、根腐れを予防することも忘れないようにしましょう。



本棚のあるリビングは 心地よくリラックスできる場所に

本棚は書斎や自室に置くものと思われがちですが、最近はインテリアとしてリビングに置く方が増えてきています。見た目の印象が変わるだけでなく、本がより身近になることで暮らしに豊かさとうるおいが生まれます。今回は、本棚のあるリビングの魅力とディスプレイテクニックをご紹介します。

リビング本棚の魅力

01

リラックス 効果

読書は短時間であっても極めて高いストレス解消効果があり、音楽を聴いたり、お茶やお散歩をしたりするよりもはるかに効果的であるといわれます。リビングに本棚があれば、すき間時間に手軽に読書ができるので、毎日の家事や仕事の効率アップにもつながります。

リビング本棚の魅力

02

学習習慣が 身につく

大人になってからの認知能力の高さは、子どもの頃の読書量に影響されるといわれることから、多くの教育関係者がリビングに本棚を置くことをすすめています。近くに本棚があることで本に触れる機会が増え、自ら学ぶという姿勢が生まれます。

リビング本棚の魅力

03

本棚を インテリアに

本棚は空間に占める容積が大きいので、ソファやテーブルといった家具と同様に部屋の印象を大きく変化させます。そのため、本棚を単なる収納場所として考えるのではなく、インテリアの一部としてデザインすることで、リビングをお洒落に演出することができます。

◆ リビングがお洒落な空間に 本のディスプレイテクニック ◆

表紙で見せるインテリア

本屋さんでよく見かけるのがおすすめの本の表紙をあえて見せるように陳列する「面出し」。本を主役にしたインテリアテクニックのひとつで表紙の印象で空間を演出することができます。

雑貨と一緒に飾る

オープンラックのように見えるタイプの本棚であれば、本だけでなく雑貨も一緒に飾ってみるのもおすすめです。センスを生かしたお洒落なディスプレイ棚として機能します。

背表紙を棚の 前面に合わせる

意識していないと本を本棚の奥に押し込みがちです。背表紙がきれいに揃っていると高さが違う本が並んでいてもすっきりとした印象になります。